

作成日 2022年 3月22日  
最終更新日 2025年1月15日

## 「情報公開文書」 (Web ページ掲載用)

受付番号 : 4920

### 課題名 : 痛風・高尿酸血症及び尿酸関連疾患の病態解明に関する研究

#### 《研究全体の責任者》

防衛医科大学校分子生体制御学講座 教授 松尾 洋孝

#### 《本学における研究責任者》

滋賀医科大学 NCD 痘学研究センター 教授 三浦 克之

#### 1. 研究の対象

平成23年（2011年）9月以降、（防衛医科大学校校長承認日）までに防衛医科大学校病院または本研究の共同研究機関で痛風・高尿酸血症・尿酸関連疾患（高尿酸尿症、低尿酸血症、尿酸との関連が示唆される疾患）の診断または治療を受けられた方、またはそのご家族及び対照者（それらの疾患のない比較対象者）を対象とします。

※本学においては、2006年以降に「滋賀県における生活習慣病の発症要因に関するコホート研究」に参加同意をされた方で、日本多施設共同コホート研究（J-MICC Study）および将来の新たな共同研究への参加同意された方

#### 2. 研究期間

滋賀医科大学学長許可日～令和13年（2031年）3月31日

#### 3. 試料・情報の利用及び提供を開始する予定日

本学で試料・情報の利用を開始する予定日及び外部への提供を開始する予定日は以下の通りです。

利用開始予定日 : 滋賀医科大学学長許可日 2025/12/23

提供開始予定日 : 滋賀医科大学学長許可日 2025/12/23

※試料・情報の提供を行う機関の名称及びその長 : 滋賀医科大学学長

#### 4. 研究目的

痛風は高尿酸血症（血液中の尿酸値の高い状態）に引き続いて引きおこる生活習慣病の1つで、激痛を伴う関節痛や、尿路結石を引きおこすのみならず、高血圧、腎臓病、虚血性心疾患、脳卒中などのリスク因子となることが知られています。痛風、高尿酸血症とともに、環境要因のほか遺伝要因の関与が強いことが分かっていますが、その全容はいまだ明らかではありません。そこで、本研究では、痛風と高尿酸血症や尿酸関連疾患の遺伝要因を明らかにして、その病気の仕組みを明らかにすることを目的として実施します。これにより、個人の疾患リスクの判定や、効果的な新しい予防法や治療法の開発に結びつくことが期待できます。

#### 5. 研究方法

血液などの検体に含まれるDNAやRNAという物質を取り出し、遺伝子の構造を解析します。調べる対象は、現在明らかになっている痛風の主要な病因遺伝子を含め、関係する可能性のある数多くの遺伝子です。

近年、技術革新が進んだことにより、ゲノム全域の多様性について病気との関わりを調べができるようになりました。ゲノム全域の多様性の解析（「ゲノムワイド関連解析」という手法による解析）については、共同研究機関である久留米大学、国立遺伝学研究所等で主に解析され、共同研究として実施します。



思表示があった時点で既に研究成果が公表されていた場合など、データから除外しない場合もあります。研究への利用を拒否することを決められた場合、下記の連絡先までお申出ください。

本学における照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

担当者の所属・氏名：滋賀医科大学 NCD 疫学研究センター 教授 三浦克之

滋賀医科大学 NCD 疫学研究センター 客員教授 高嶋直敬

住所：520-2192 滋賀県大津市瀬田月輪町

連絡先：電話番号：077-548-3658

本学の研究責任者：滋賀医科大学 NCD 疫学研究センター 教授 三浦克之